

# 和歌山市の道路管理

## ～老朽化を向かえた道路施設の予防保全～

和歌山市 建設局 道路部

### 市の概要

和歌山市は、紀伊半島の北西部、紀の川河口に位置する和歌山県の県庁所在地で、北は和泉山脈をはさみ大阪府と接しており、東は岩出市、紀の川市、南は海南市に接しています。市域は東西約 29 キロメートル、南北は約 17.5 キロメートルにわたり、総面積は 208.84 平方キロメートルと和歌山県の約 4.4% を占めています。

西は風光明媚な紀伊水道に面し、北は緑豊かな和泉山脈ののどかな山並みを一望し、市のほぼ中央を東西に紀の川が流れるなど、自然景観に恵まれています。気候は、温暖で降水量が少ない瀬戸内気候に属しています。また当市は国際拠点港湾である

下津港を有するとともに、関西国際空港に一番近い県庁所在地であり、世界への窓も開いています。



和歌山市の位置図

### 道路管理の現状と課題

管理している市道は、平成 27 年 3 月末日現在では、路線数 4,766 路線、管理延長約 1,100km、橋梁約 950 橋などがあり、道路の維持管理については、路面の補修、除草を行うことはもとより、カーブミラーやガードレールを設置するなどの交通安全事業を行うことにより安心な道路空間の確保に努めています。また、急速に老朽化することが懸念されている社会資本の維持管理・更新については、当市でも大きな問題となっており、社会資本の老朽化による道路ストックの急速な高齢化に対応するため、維持管理の考え方を事後保全から予防保全へ転換し、今ある道路を効率的に長く安全に活用していくことを目標としています。

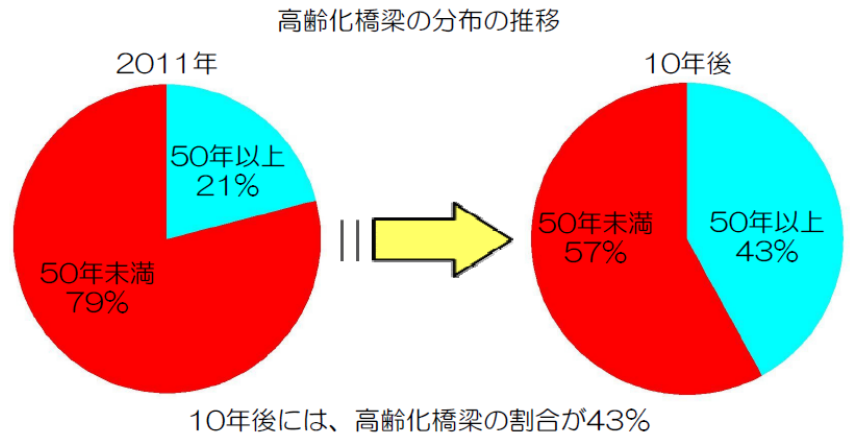
## 橋梁の長寿命化

現在、管理する道路橋は、約 950 橋あります。平成 22 年度において、このうちの 81 橋を対象に点検調査を行ったところ、施工後 50 年を経過する高齢化橋梁の割合は、21% ですが、2021 年には 43% が施工後 50 年以上経過する橋梁となり、急速に高齢化橋梁が増大します。

これらの橋梁に併せて残り約 870 橋のうちの高齢化橋梁が、今後一斉に更新時期を迎えた場合、大きな財政負担が生じることとなります。

このような背景から、道路交通の安全性・信頼性を確保するため、これまでの劣化・補修が大きくなってから修繕する事後保全的な対応から、計画的かつ予防的な対応に転換し、橋梁の長寿命化及び計画的な修繕・架替えを実施することで、予算の平準化・コスト縮減を図ることが不可欠となっています。

当市では、橋梁の長寿命化及び計画的な修繕・架替えを実施するため、「和歌山市橋梁長寿命化修繕計画」の策定に取り組み、「毎年 5 橋程度」ずつ順次修繕を行なっているところです。



### 長寿命化修繕計画

- 従来の劣化・損傷が大きくなってから行う方法では、財政的に困難と考えられます。計画的な予防保全型対策を行うことが、長寿命化を可能にし、安全で安心できる橋梁を維持する最適な方法です。
- 平成 23 年度に 81 橋について長寿命化修繕計画を策定。
- 各橋梁の定期点検をはじめとした維持管理を実施し、必要に応じて長寿命化修繕計画の見直し・更新を行う。
- 長寿命化修繕計画に基づき計画的・予防的に修繕を行うことで、橋梁の延命化・コスト縮減・予算の平準化を実施。

## 道路の舗装修繕

当市では延長約 1,100km の市道を管理しており、道路舗装においても限られた予算で効果的・効率的に走行性、安全性あるいは快適性等の舗装の供用性を適切に保つことが求められています。効果的かつ効率的な舗装の管理を行うためには、舗装の損傷程度を数量的かつ客観的に把握し、予算が平準化する様に計画的に道路の舗装修繕を実施する必要があることから、平成 26 年度に舗装路面の性状を客観的かつ数量的に評価した舗装修繕計画を策定するため、路面性状調査を行い、ひび割れ率、わだち掘れ量、横断凹凸 (IRI)、について解析・評価を行った結果により MMC 値 (道路の維持管理指数) を算出する等を実施いたしました。現在、舗装修繕計画と道路利用者や沿道市民の路面損傷情報における現地確認の結果とあわせた計画的な舗装修繕を実施しています。

## 道路管理の今後

高度経済成長期に整備された道路ストックに加え、現在、国において京奈和自動車道・第二阪和国道などの幹線道路整備や市内における都市計画道路の整備がされるなど道路環境の改善による企業誘致や観光振興等に期待感が高まっています。社会資本の老朽化対応を適切に行うことで、市民に安全で安心な道路環境を提供できるとともに、整備された社会資本のベースである道路がストック効果を発現できるように、メンテナンス体制を構築し、より良い道路維持管理に努めてまいります。